

あつまれキッズデザイナー2022

JID kids design workshop



JID kids design workshop 2022年度活動報告書



あつまれキッズデザイナーたち！

公益社団法人日本インテリアデザイナー協会(JID)では、「あつまれキッズデザイナー」というスローガンのもとJID北・東日本エリアの活動として「キッズデザインワークショップ」を2008年から毎年企画開催してきました。

私たちインテリアデザイナーは仕事柄日々様々な問題を「デザイン」という行為で解決しています。「デザイン」とは人の自然な「表現」の一部であり、また様々な問題を解決する「工夫」でもあります。子どもたちは自分の創作を認めてくれる相手がいると何も教えなくても、自発的に様々な「表現」や「工夫」をします。それが「デザイン思考」の始まりなのかもしれません。子どもたちの「表現」「ひらめき」「工夫」を見ていると私たちも驚かされたり考えさせられたりします。

これからの世界を担うべき「子どもたち」に「ひらめき」を「表現」し「工夫」をすることで世の中が良くなっていくことができるという「デザインの力」を少しでも体感し、楽しんでもらえるこのような機会は大きな糧となってくれるでしょう。

まずは「デザイン」で楽しい思い出作りを！あつまれキッズデザイナーたち！

公益社団法人日本インテリアデザイナー協会 理事長 丹羽 浩之



あつまれキッズデザイナー
「おやこでチャレンジ!!」
みんなでつくる夢のまち

デザイナーになって、“まち”や“住まいのインテリア”をデザインしてみよう。
子どもの目線で考える SDGs 持続可能な「夢のまち」「暮らしてみたいインテリア」を想像し、親子で考えて作品づくりにチャレンジしました。



- ・実施日:2022年7月23日(土)24日(日) 10:30~16:00
- ・会 場:リビングデザインセンターOZONE 7階特設会場
- ・作品展:7月25日(月)~31日(日) 同6階パークサイドスクエア
◎最終日にキッズデザイナー認定証授与式実施
- ・対 象:小学生(親子で参加)
- ・参加数:2日計20組 (参加児童年齢:5歳~12歳)
- ・企画運営:(公社)日本インテリアデザイナー協会(JID)
:(一社)日本インテリアコーディネーター協会(icon)

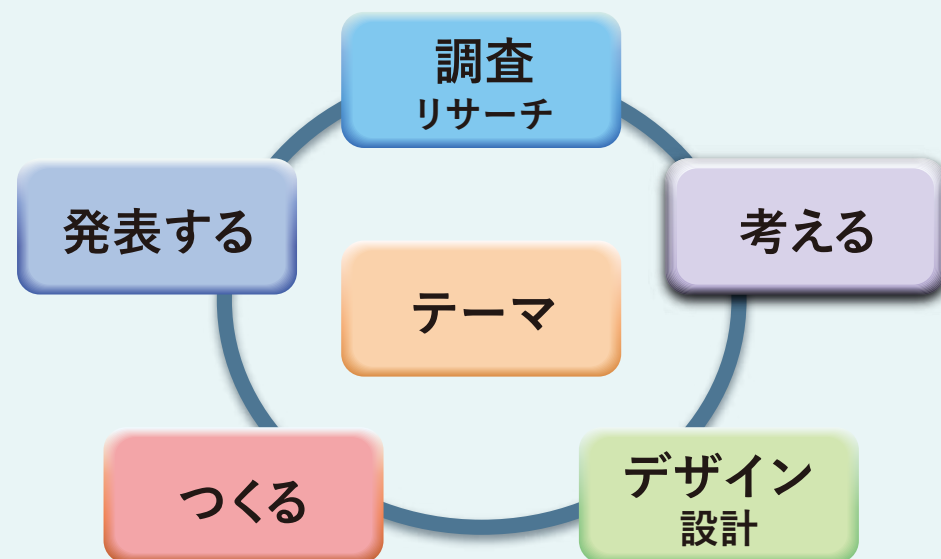


キッズデザインワークショップの考え方



公益社団法人日本インテリアデザイナー協会では、社会貢献活動の一環として 2000 年よりデザイン教育分野で、未来を担う子どもたちを対象にインテリアデザインの教育実習、デザイン教育への提案などを進めています。また、キッズデザインワークショップでは、小学生を対象に、独自性の高いカリキュラムで体験学習型のワークショップを開催。この事業は当協会創立 50 周年 (2008 年) から継続事業として実施し、今日に至っております。

■ ワーキング SIXBOX



テーマ	作品のテーマを考える
調査 リサーチ	作りたいものに関する情報を調べる
考える	夢や理想、イメージワード、アイデア、SDGs
デザイン 設計	下書きを描き、具体的な案にする
つくる	教材を加工・組立て作品に適した表現を施す
発表する	作品を互いに発表する

子どもたちの未来へ

21世紀の担い手である子どもたちは、文化の継承者でもあります。次世代を担う子どもたちを育むことは、当協会の公益活動のひとつに掲げています。ワークショップでの体験をきっかけに、デザインに興味を持ち、未来のデザイナーが生まれてくることを願っています。これからも、子どもたちがデザインに触れ、創作的活動のできる機会や環境を提供するキッズデザインワークショップを、サポートの皆様ステークホルダーの皆様のご支援ご協力を賜りまして推進してまいります。

公益社団法人日本インテリアデザイナー協会 北・東日本エリア キッズデザイン プロジェクト

気付きと発信力

デザインを身近なことから捉え、自ら興味のあるモノ・コトに取り組み、デザインの本来意味する計画・設計や創作を基に、未来に向かって夢を描き続けることが自己形成の上で大切なことと考え、子どもたちの「気づきと発信力」のきっかけづくりを目指して運営しています。

子どもたちに伝えたいこと、大切にしてほしいことをコンセプトにカリキュラムを作成し、子どもたちが何かに気づき、発見し、自らカタチにする上でスムーズに取り組めるような教材や事前資料、イメージワード、当日のテキストを準備しています。

■ JIDキッズ ワークショップのコンセプト



北・東日本エリアのキッズワークショップでは

- ① ホンモノに触れ、モノづくりの喜び・デザインする楽しみを体験
- ② 仲間や親子のコミュニケーション
- ③ 自然や社会環境、住まいや生活を考える
を基にカリキュラムを組立てる

長期にわたる子どもたちへの取り組みは、『子どもの頃の体験は、豊かな人生の基盤となる』との考えのもとに、「教え教わるワークショップ」として、各エリアでそれぞれ独自の教育カリキュラムを組み立て運営しております。

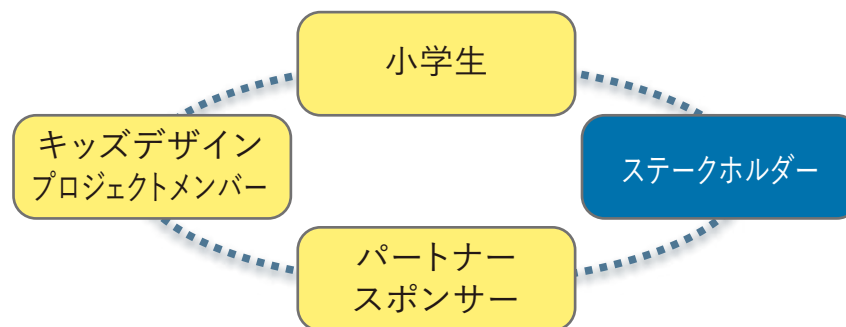
日本の伝統文化や技術に触れ、それらを大切にデザインやものづくりを体験し「デザインとは」「デザイナーとは」を考える。また、講師による説明や教材を通して、物事の変化に「気付き」を見つけ、何かを探求したり、観察する力を身に付け、自ら考え、自ら学ぶきっかけを育み、経験から知恵として、豊かな暮らしの一助になるワークショップを目指しています。

あつまれキッズデザイナー

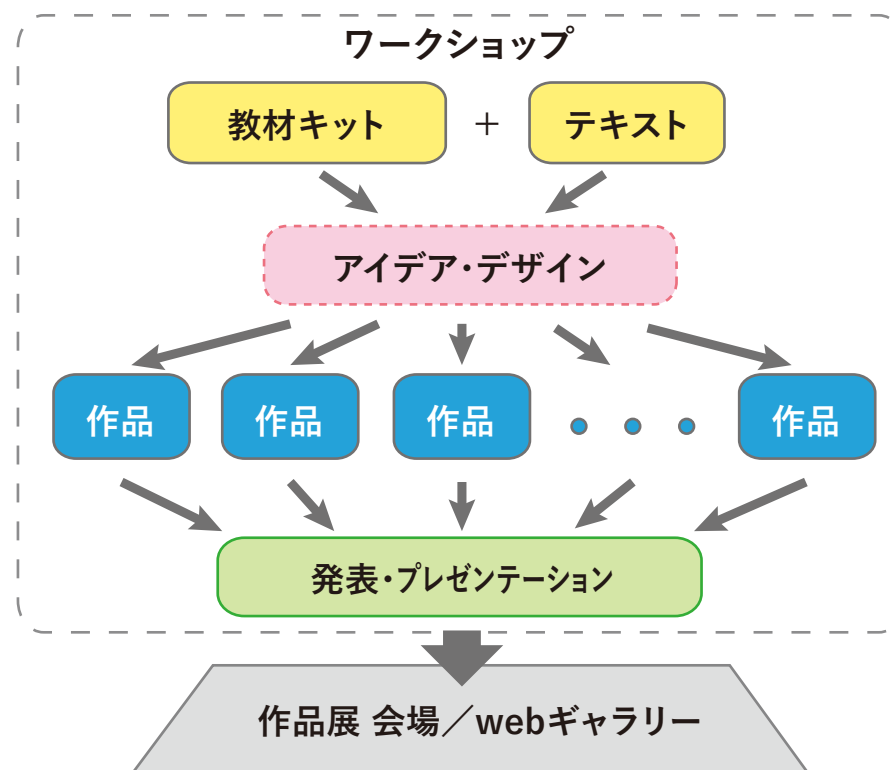
おやこでチャレンジ!! みんなでつくる夢のまち

キッズデザインコンセプト

- ・ 家族や地域社会とのコミュニケーション
- ・ 自然の恵みと伝統・文化・技術
- ・ 持続可能な生活環境づくり (SDGs)

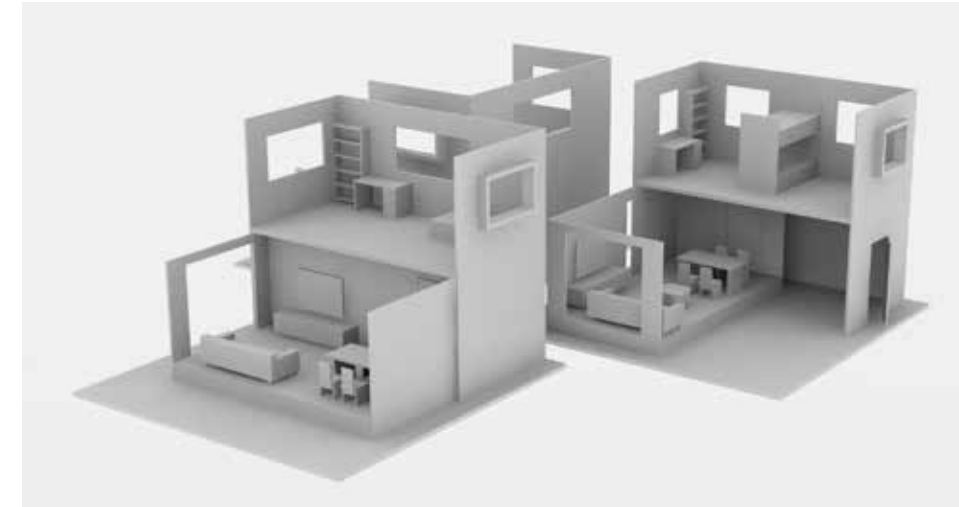


2022年度は、家族や地域社会とのコミュニケーション、自然の恵みと伝統・文化・技術、持続可能な空間づくりをコンセプトとしてワークショップの企画を進めました。従来の”住空間”だけではなく、住空間の環境を考えるには欠かせない”まち”を加えた2つのテーマとしました。



1日のワークショップでは、子ども(親子)のイメージを膨らませて、作品を制作するには時間が十分とは言えません。ワークショップに参加する前に、考える、調べる、親子で話をするによって、より深くコンセプトに沿って夢のまちやインテリアを考え、作品作りに反映していただけるよう、事前教材をお送りしました。

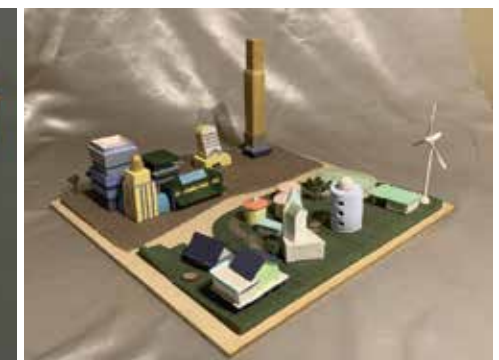
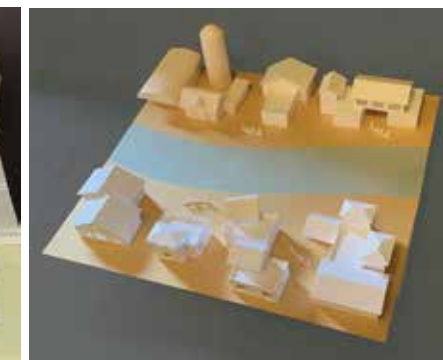
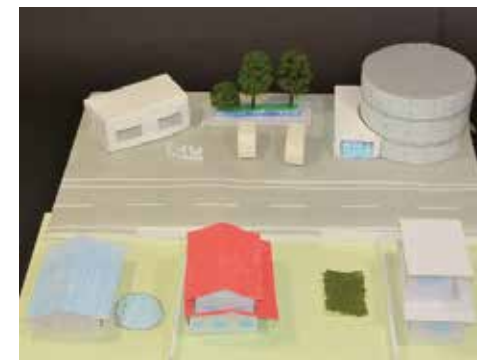
インテリア アイデア



パブリックスペースとパーソナルスペースを一緒に表現出来るもの。子どもたちが、1日のワークショップの短い時間で、事前に準備してきたアイデアを具体化するにはどのように作ればよいか、子どもたちが興味を持って取り組めるものか、制作の難易度や使用する材料による加工難易度はどうかなど多角的に検討し、教材の試作などに多くの時間をかけ、基本教材と副材の試作検討を行いました。

また、空間のスケール感が理解しやすいよう、3Dプリンターで人物模型を作成したり、インテリアに必要なテーブル・椅子・ドアや家電のサンプル模型を作成し、イメージに合わせて着色できるものとなりました。

まちづくり アイデア



基本材料検討(ベース・建物・パーツ)





コロナ禍で中断し、久しぶりに実施されたイベントの会場には、子どもたちのワクワクした顔が満ちあふれていました。説明が終わり制作が始まると、皆目を輝かせてパーツを選び、色を塗り、夢中で作業に取りかかり、親も子どもも一緒になって素敵な作品がどんどん仕上がっていきます。ほとんどの子どもたちが事前に配布されたテキストをもとに「事前準備」をおこなってきたようで主催者が用意していないオリジナルパーツも準備していたようです。このイベントはぜひこれからも続けていき、未来のインテリアデザイナーの育成に繋がっていきたいと思います。参加した子どもたちに心からの拍手を送ります。

JID北・東日本エリア 担当理事 鳥井貴正



このワークショップでは作品制作後、ひとりずつ作品についてインタビュー形式で発表します。発表の場は社会とのコミュニケーションの場とも考えられます。ゼロからイメージデザインしてカタチにしたものを自分の言葉で伝えることは子どもたちにとって貴重な体験です。まず作品のタイトルを発表してもらいます。それは自分が何を作りたいかをまとめ、伝えるもと（コンセプト）になります。次に作品の中で気に入っているところや難しかったところなどを聞きます。作品に注目してこだわったところをインタビューで引き出し、それをみんなが理解できるようになると、本人は達成感を感じて、作品に愛着を持つようになると思います。そのこだわり方には自由な発想があり、例えば「庭のトマトとニンジンを作る畑」であったり、「誰にもわからないへや」であったりなど、大変興味深いものがありました。さらに他の人の発表を聞くことも何か気づかせてもらえます。OZONE で1週間の作品展示を行い、展示の最終日には、キッズデザイナー認定授与式を行いました。子どもたちがデザインすることの楽しさ、デザインの無限の広がりを感じてもらえることを目指して、運営しています。

アンケート(参加者の声)

参加者からのアンケートの一部を以下に記します。

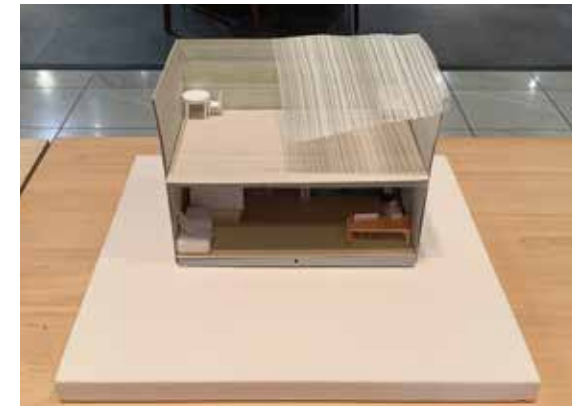
- ・とても楽しい時間でした。たくさんの材料や道具を用意していただき、アドバイスをくださった家では絶対できない作品作りでした。ありがとうございました。また来年もチャレンジしたいです。
- ・パーツを色々ご用意していただき良かったです。色々なものが作品作りに使えることに本人も勉強になったと思います。
- ・先生方が優しく、とても気持ちよく作品作りができました。本当にありがとうございました。
- ・プロの方のアドバイス、発想すること、作る喜びを教わる大変贅沢な時間でした。また機会がありましたら参加させていただきます。ありがとうございました。
- ・親子で一緒に作り上げることも、その過程が充実していて大変良い思い出です。本当は2つ作りたかったのですが、予想以上に時間がかかりますね。1つを集中的に作り上げることができて良かったです。
- ・ご準備とても大変だったと存じます。どうもありがとうございました。
- ・とても楽しかったです。最初一日長いワークショップだと思ったけど、実際に作りはじめると楽しくてまだまだやりたい時間が足りないと思いました。
- ・材料等ご準備下さり、ありがとうございました。大変有意義な時間となりました。



お城みたいな大きい家



ペットがいるおうち



シンプルな家



みどりゆたかなりラックスのいえ



自給率の高いまち



夏の家



小川のある町



未来都市



ワークショップ当日。お父さんと男の子がゆっくりと作品作りに取り組んでいます。「最後に作品発表会があるので、その前までに出品してくださいね」と私。2人は改めて行動全開。居間と食堂にバスケットゴールを取り付け、庭には競泳用のプールと鉄棒を設置。体育大好き、「表現」ワクワクの2人でした。次はお母さんと男の子が話してくれました。家には昔からお父さんの好きな世界地図や世界の国々の本があって家族みんなで見ていたそうです。こうした皆さま方の「デザイン力」、「それぞれのご家庭の物語」があって、お子さんと一緒に励んで下さったおかげで「あつまれキッズデザイナー おやこでチャレンジ!! みんなでつくる夢のまち」が誕生いたしました。ありがとうございました。
小玉靖子 icon

コロナ禍のため延期されて、3年ぶり開催のワークショップにどんな親子がどんな作品を見せてくれるか楽しみでした。母親と参加した女の子は慎重に素材を吟味していましたが、母親の選んだものが気に入らない様子でした。大人は床ならこれ、壁ならこれ、と決まったものでまとめようと思いますが、その子はオレンジ色とグリーンの床を選んで決めたいようでした。私はきれいな色の組み合わせに感じたので、それを伝えると嬉しそうに自信をもってそれに決めていました。その後エンジンが掛かったように、空間を上手くとらえドアや窓を加え、好きな素材で家具を作りノリノリで自分の世界をイメージして楽しんでいるようでした。仲間(参加者)がいて、家族(保護者)がいて、少し緊張感があり、非日常の時間をもつことができ、きっと忘れられない一日になったと思います。
田中みつ子 icon



人と恐竜が暮らす町



海の町



太陽光発電のうみ



棚田と屋上緑化



海と宇宙の家



ゆったりとした部屋

再生可能エネルギー



川のある街



海の上の家



当日サポートスタッフとして2日間と認定証授与式に参加いたしました。子どもたちの好奇心に満ちたキラキラした目と、独創的な作品の数々に楽しい時間を過ごさせていただきました。事前に準備された多彩な素材の数々も夢を膨らませる良い品揃えで、感動モノです。ちょっとしたヒントを与えると、ムクムクとイメージが膨らんでいくのがわかりました。デザインという頭の中のをカタチにする面白さを感じてもらえたと思います。この面白さや達成感を小学生の時に体験したら、もっとデザインに興味を持って、クリエイティブな職業への選択肢が広がるような気がします。独創性と、それをカタチにする能力は、自由で楽しいことが大切です。 森山 恵 icon

ワークショップ開始と同時に子どもたちの手が動き始め、やる気満々のその姿に圧倒され、スタッフとして準備された材料の位置を慌てて再確認したほどです。「これは家から用意してきたの」「これは僕が考えたの」と作品作りに前向きにチャレンジしている子どもたちの目は、とてもキラキラと輝いていました。今回の親子でチャレンジした作品、時間を子どもたちが大人になった時、きっと楽しい思い出の一コマになっているなあ、と思いながら私自身も子どもたちの想像力を一緒に楽しませていただきました。キッズデザイナー誕生に拍手です。 松浦千代美 icon



釣りの出来る海の家



自然を感じる快適なすまい



かわいい部屋



バスケットゴールのある家



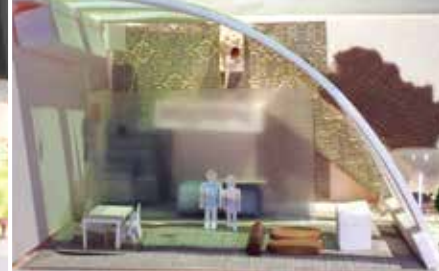
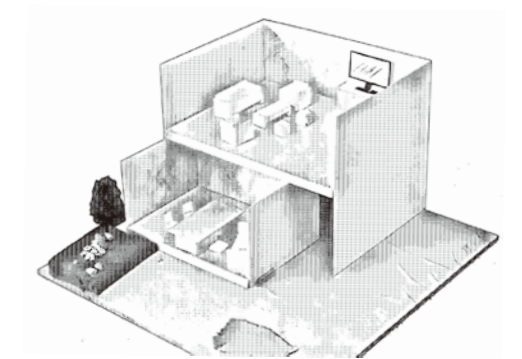
世界の心が集う街



森の家



森林



リアルコミュニケーションから得られる体験することの大切さを実感。親子参加で街や家のインテリアデザイン等造作いただき、子どもたちの真剣かつまじめに取り組む姿勢、保護者(の方が本気度高かった!)と力をあわせて作り上げた”夢のまち”は、子どもたちの達成感に満ち溢れた笑顔が、その意義を物語っていたように思います。また、テーマにもあったSDGsを考えた作品も多く、子どもたちの環境に対する考えが、いろいろな角度から表現されていて、逆に教わる事も多かったです。リアルに体験し形にする事、親子の協力、他の参加者や、アドバイスをいただいたインテリアコーディネーターとのコミュニケーションを通して、参加者、主催者共に素晴らしい気づきを得られた場になったと思います。

亀田一幸 JID

今回は、夢の広がるとても良い企画だったと思いました。展示もひとつの街のように見る側もわくわくしささまざまな気づきを得られたと思います。SNSにUPした際の反応もとても良かったです。普段、正解不正解の二極化思考であったり詰め込み型の勉強方法になりがちですがAIが仕事を担っていく時代において、感じたり、自由な発想で自ら考え行動するアート思考やデザイン思考がますます大事になってくると思います。子どものうちから様々なものに触れ、ものと向き合い、試行錯誤して完成させる。ということは、そういった思考に役立つのではないのでしょうか。また「デザインする」とは、綺麗なやかっこよさを求めて装飾することではなく「本質を捉えて正しい位置に配置する計画をすること。その結果として美しいものができる。」本質を見抜く思考を身につけるにもキッズデザインプロジェクトが役立つと思いますし、そのような企画運営をして広がっていったらいいなと思います。

広田恭子 icon

箱庭づくりにチャレンジ

kids
DESIGN WORKSHOP
2019



箱庭のイメージ大きさや形、バランス考え、素材を組み合わせ、インテリアを飾る素敵なものを・・・とデザインを考えながら、箱庭をつくります。

- ・日 時 : 2019年1月14日(月/祝日)
- ・会 場 : リビングデザインセンターOZONE 5Fセミナールーム
- ・参 加 数 : 18組(総人数42人)

マイ・ワンダーランド つくろう私の不思議箱

kids
DESIGN WORKSHOP
2019



直方体の箱の中にマイ・ワンダーランドを表現。小さな箱の中にアートを作ります。箱の中にはいろんな世界が広がります。

- ・日 時 : 2019年8月25日(日) 13:30~16:30
- ・会 場 : リビングデザインセンターOZONE 6Fパークサイドスクエア
- ・対 象 : 5歳~小学6年生(親子で参加)
- ・参 加 数 : 15組

あつまれキッズデザイナー「親子でつくろう モビール・アート」

kids
DESIGN WORKSHOP
2019



風でゆらゆら揺れるモビールを、身近な材料を使ってインテリアを飾る「モビール・アート」にチャレンジします。

- ・日 時 : 2019年4月29日(月・祝日) 13:30~16:30
- ・会 場 : リビングデザインセンター OZONE 5Fセミナールーム
- ・対 象 : 5歳~小学6年生(親子で参加)
- ・参 加 数 : 9組 (総人数22人)

親子でつくろう楽しいランプシェイド

kids
DESIGN WORKSHOP
2020



組子をデザインモチーフとしたランプキットを組立て、あかりをテーマに生活や遊びを考え各自思い思いの作品を制作します。ランプのあかりによる陰影や調色による効果などを考慮して作品づくりを楽しみましょう。

- ・日 時 : 2020年1月12日(日) 13:30~16:30
- ・会 場 : リビングデザインセンターOZONE 5Fセミナールーム
- ・対 象 : 5歳~小学6年生(親子で参加)
- ・参 加 数 : 17組

飛び出すカードで気持ちを伝えよう

kids
DESIGN WORKSHOP
2021



「コミュニケーション」をテーマにしたワークショップで、《平らな紙をいくつか折りたたみ、二つ折りにした台紙に貼り付ける。台紙を開くと折りたたまれていたものが立体となって飛び出す仕組みのメッセージカードをデザインします。

- ・申込期間 : 2020年11月~12月
- ・対 象 : 小学生 (親子で参加)

これまでの活動

社会貢献の一環として、JID創立50周年の2008年度より子どもを対象としたワークショップを継続的に開催しております。

開催年	ワークショップ名
2008～2009	"こどもインテリアデザイン学校 「放課後の家 インテリアを考える」"
2009	プレイベント OZONE「子育てハウス・展」
2009	"こどもインテリアデザイン学校 「食卓からはじまるインテリア～楽しいごはん!!～」"
2010～2011	あつまれキッズデザイナー「森からのめぐみを大切に、チャレンジ椅子作り」
2012	あつまれキッズデザイナー「大きな夢のつまった小さな椅子づくり」
2013	あつまれキッズデザイナー「つくろうマイチェア マイテーブル」
2015	あつまれキッズデザイナー「親子であかりをデザインしよう」
2015	あつまれキッズデザイナー「親子でインテリアをデザインしよう!」
2015	あつまれキッズデザイナー「親子であかりをデザインしよう2」
2016	あつまれキッズデザイナー「親子で作ろうデザインパネル」
2016	あつまれキッズデザイナー「つくろうマイチェアマイテーブル2」
2017	あつまれキッズデザイナー「親子で作ろうメッセージボード」
2017	あつまれキッズデザイナー「つくろうマイチェアマイテーブル3」
2018	あつまれキッズデザイナー「親子でつくる、インテリアアート・ミラー」
2019	あつまれキッズデザイナー「親子でつくろうモビール・アート」
2019	あつまれキッズデザイナー「マイ・ワンダーランド つくろう私の不思議箱」
2019	あつまれキッズデザイナー「箱庭づくりにチャレンジ」
2020	あつまれキッズデザイナー「親子でつくろう楽しいランプシェイド」
2021	あつまれキッズデザイナー「飛び出すカードで気持ちを伝えよう」
2022	あつまれキッズデザイナー「おやこでチャレンジ!!みんなでつくろう夢のまち」

受賞年	受賞名
2009	「グッドデザイン賞」受賞
2012	「第6回キッズデザイン賞」受賞
2017	「WOODDESIGN賞」受賞



西日本エリア

2016 キッズデザイン「親子でつくるわたしの"へや"」

2016年8月14日(土)グランフロント大阪 北館タワーCにおいて 小学生を対象としたワークショップ「キッズデザイン:親子でつくるわたしの"へや"」を昨年に引き続きナレッジキャピタルからの依頼により行いました。



2018 キッズデザイン「親子でつくるわたしの"あかり"」

2018年7月28日(土)に恒例のナレッジキャピタルワークショップフェス2018キッズデザイン「親子でつくるわたしのあかり」を開催しました。当日は台風前の雨の中にもかかわらず1日3回のワークショップも満席でキャンセル待ちが出るほど好評でした。36組の親子さんに参加いただき台風を吹き飛ばす勢いで元気な子どもたちと楽しく個性的なあかりを作ることができました。



南日本エリア

2022 キッズデザインワークショップ 「木育スポーツ、木の工作体験」

材料には国産木材の端材や、小枝から幹の輪切り・木の実等々自然素材を自由に使った、子どもの工作です。また、これらの材料は毎回同じものでなく、いろいろな素材を数多く集めて子どもたちの学びになるようにと準備しています。制作には父さん母さんの加勢もありますが、奇抜な発想や主導権は、ほとんど子どもたちでおこなわれました。



その他の活動

開催年	エリア	ワークショップ名
2012	西日本	親子でつくるわたしの"あかり"
2014	西日本	親子でつくるわたしの"あかり"
2015	西日本	親子でつくるわたしの"へや"
2016	西日本	親子でつくるわたしの"へや"
2017	西日本	親子でつくるわたしの"へや"
2018	西日本	WIW参加型イベント「デザインワークショップ」 紋切り遊びでシャンデリアを作ろう 木の積み木 革のキーホルダー、コインケース
2019	南日本	木育スポーツ3種を体験しよう・端材の積み木で遊ぼう
2020	南日本	木育スポーツ・木の工作教室
2021	南日本	木育スポーツ・木の工作教室

JID 公益活動紹介

JIDは、日本のインテリアデザインに係る人々の全国組織で、その交流と研鑽、地位向上を目指し、積極的に活動しています。

公益社団法人として、その目的を達成するため、次の活動（公益目的事業）を行っています。

地域との連携・エリア活動：生活環境保全保護及び地域経済社会の健全な発展に寄与する事業

展覧会・研究会・出版：調査、研究および情報の収集・提供、展覧会等の開催に係る事業

セミナー・ワークショップ：講座、講演会、シンポジウム等による人材育成に係る事業

JID AWARD・コンクール：公募、審査、受賞対象の発表、表彰に係る事業

国際活動：インテリアデザインに関する国際相互理解の促進と関係国際機関との協力事業

その他：公益目的を達成するために必要な事項

JID PROJECT／国内活動・エリア活動

JIDは、全国組織で積極的に事業活動を実施しています。また、講演会やセミナーを定期的を開催しており、幅広い世代の活動を行うことによって次世代へのデザインの広がりを目指しています。

国内活動については、関東と東北と北海道の北・東日本エリア、中部と北陸の中日本エリア、関西と中国四国の西日本エリア、九州沖縄の南日本エリアの4つのエリアで、JIDメンバーからなる委員会が中心となり様々な活動を行っています。

北・東日本エリア

からだところのケアデザイン	エリア特別プロジェクト
キッズデザインプロジェクト	メンバーシップ事業委員会
日本の意匠「温故知新」物語	広報委員会
デザイン職人「四方山話」	
くらしデザイン研究	

中日本エリア

インテリアデザインの現場	広報委員会
インテリアアワードJID中部学生賞	国際・交流委員会
学生応援プロジェクト	特別プロジェクト
トレンドセミナー	

西日本エリア

キッズデザインワークショップ	L&D連動プロジェクト
暮らしセミナー	国際委員会
学生デザイン展	広報委員会
日本の空間デザイン展	特別プロジェクト

南日本エリア

学生インテリアデザインコンテスト	広報委員会
九州インテリアデザイン展	特別プロジェクト
トレンドセミナー	総務委員会



JID AWARD開催

1969年よりインテリアデザインに係る優れた作品、業績を顕彰し、世に紹介することを目的として「協会賞」の選考授賞をはじめました。現在も時代を反映した挑戦的な作品の受け入れを推進しています。

World Interiors Week (WIW)

IFI国際インテリアアーキテクトデザイナー団体連合が推奨している世界同時イベント「World Interiors Day」を受けて、メンバーであるJIDとJDP（公益財団法人日本デザイン振興会）は、この活動を支援すると共に日本ではさらに拡張させ、毎年5月最終土曜日を含めた1週間をインテリアデザインと暮らしを考える週として、「World Interiors Week in Japan」と称し広範囲な運動を展開しています。

次世代を担うデザイン展

将来のデザイナー育成に寄与するとともに、インテリア産業の活性化を目指し、また、優れたデザインを求める業界と、デザイン系学生の交流の機会とすることを目的として、開催しています。

JID国際活動

JIDはIFI(International Federation of Interior Architects/Designers)国際インテリアアーキテクト／デザイナー団体連合及び、APSDA(Asia Pacific Space Designers Association)アジア・パシフィックスペースデザイナー協会に、日本代表の団体メンバーとして加盟し、積極的に国際活動への参加と発言を行っています。

関連団体との連携

日本デザイン団体協議会[D-8]に加盟連携し、デザインに関係する様々な課題解決に向けた努力をすることが社会貢献につながる思いで活動をしています。

支援のお願い

公益社団法人日本インテリアデザイナー協会(Japan Interior Architects/ Designers' Association)JIDは、1958年設立以来、暮らしと環境について考える、日本で最も歴史ある全国的インテリアデザイナーの組織です。インテリアデザインは、住まいはもとより学ぶ・働く・楽しむなど私たちが日々過ごす全てのインテリア空間において、快適で美しい場を創り出すことを使命として日々活動しています。

近年では、より多様な生き方と共に、インテリアデザインの重要性が高まり『より豊で居心地の良い美しい空間』が求められています。その重要な役割を果たして行くのがインテリアデザインであると考えます。

私たちJIDは、様々な事業活動を通じて人々の期待に沿うとともに豊かな“暮らし”と“産業の発展”のため、社会公益性に資する活動を続けております。未来をひらく次世代人材の育成活動、インテリア産業界と市民の方々と一緒に考えるセミナーやフォーラムの開催。世界とは、国際インテリアアーキテクトデザイナー連盟(IFI)とも手を携え、全世界のデザイナーや、アジアパシフィックエリアではAPSDAと共に地域特有の問題についても様ざまに活動を続けています。

これからの我が国の発展は豊かな暮らしに根ざした産業の発展が大切です。様々な空間を生み出すインテリアデザインが、より良い生活文化の構築と、明日の豊かな産業・風土を生み出すためにも、私達JIDへのご支援を心よりお願い申し上げます。



公益社団法人日本インテリアデザイナー協会 JID

1958年設立。インテリアデザインの創作活動を奨励し、人材の育成に努め、インテリアデザインの普及を図り、もって国民生活の文化的向上と産業の発展に寄与することを目的とする。

JID AWARD JID賞／毎年、インテリアスペースおよびインテリアプロダクト、インテリア研究・著作・業績の分野での優れた活動に対し、贈賞を行っています。 **研究活動**／デザイン会議、研究発表会、インテリア産業セミナー、講演会、講習会などを積極的に展開しています。 **調査活動**／インテリアデザイン教育、オフィス環境、デザイン報酬基準などの調査活動を実施しています。 **国際活動**／JIDは国際的な活動にも我が国を代表して積極的に参画しており、世界的なインテリアデザイナー団体である IFI(International Federation of Interior Architects / Designers) の構成員として任務を分担しています。また、APSDA (Asia Pacific Space Designers Association) など近隣諸国の諸団体とも交流を図り、国際的イベントの開催などに対しても積極的に協力しています。

その他の活動：作品発表活動／出版活動／職能活動／交流活動／協力活動 SDGs官民連携プラットフォーム会員

一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会 icon

2012年設立。住宅をはじめ、あらゆる空間のインテリアを充実させるために、インテリアコーディネーター（以下IC）の職能を社会に確立・発展させていくことを目指し、ICの質的向上を図ると共に、インテリアの向上に貢献するための条件を整備することを目的とする。

独自の取り組み／CPD制度(Continuing Professional Development)、トップコーディネーター認定、TAS (Technical Advice System)、文芸美術国民健康保険、賠償責任保険自動付帯などICのプラットフォームとして、新たな社会的役割を追求する様々な活動をしています。(略称:iconアイコン)

キッズデザイナーたちの未来へ

一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会(icon)は、JIDが毎年開催を続けてこられた「キッズデザインワークショップ」に、2018年から参画させていただいています。

キッズデザイナーたちの作品展は、どれもワクワクを感じさせてくれる、そしてデザインに携わる私たちにとって大事な何かを思い出させてくれる素敵な作品が並びます。

その作品が完成するまでには、うまくいわずに悩んだり試行錯誤したりするような場面があったかもしれません。感じる事、考える事、表現すること、伝えることなどこの企画で経験したことが、キッズデザイナーたちの未来へ繋がりますように。そして、親子でひとつの作品に向き合った夏の思い出が、大切な宝物になりますように。

一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会 会長 北谷 明日香

キッズデザイナー 「気づきと発信力」

《体験を通して学ぶキッズデザインワークショップ》は、2008年JID創立50周年の記念事業のひとつとしてスタートしました。以来14年目を迎えた今年度は、SDGs持続可能な”夢のまち””暮らしてみたいインテリア”を子どもの感性で捉え、作品づくりにチャレンジしました。子どもたちの無限の感性と才能あふれる作品には、毎回の事ながら、スタッフ一同、制作プロセスと出来映えには感動しました。ぜひ、報告書をご覧くださいたく存じます。

体験から学ぶ 「気づきと発信力」

ワークショップでは ①本物に触れ、モノづくりの喜び・デザインする楽しみを体験する。②仲間や親子のコミュニケーションを図る。③自然や社会環境・住まいや生活を考える。を基に、親子でテーマを考えデザインから始まり、作品の制作そして自分の考えや作品のコンセプトを発表。展示会での作品発表といったデザインの創作活動の一連を体験します。『子どもの頃の体験は、豊かな人生の基盤となる』との考えをもとに、ワークショップでは、各回テーマを掲げて開催しております。子どもたちが世の中やモノゴトの何かに「気づき」、自ら学びそして研究して意見や作品としての「発信力」を発揮する。そして育むきっかけになればと思います。

私たちは、ワークショップでは少しでも子ども自身が自分らしさを見つけたり、自主性を育てるきっかけづくりのお手伝いができればと心がけ、作品づくりのヒントやアドバイスを行っております。また、今後デザインに興味を持ち、将来デザインの世界で活躍する子どもたちが、育ってこることも期待と希望をこめ接しております。これからも、子どもたちと我々が共に成長するワークショップを研究し、「気づきと発信力」のシーズをお届け出来るよう、クリエイティブなカリキュラムで《親子で体験するキッズデザインワークショップ》を目指してまいります。

今回も賛助会員をはじめ各方面のステークホルダーの皆様には、ご支援ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

キッズデザインワークショップが持続可能な事業として継続していけるよう、今後とも皆様にはご支援ご協力をお願い申し上げます。

公益社団法人日本インテリアデザイナー協会 副理事長 小野上 勝志

協賛・協力企業 (2022年度)

 学校法人環境造形学園専門学校ICSカレッジオブアーツ https://www.ics.ac.jp		 株式会社アダル https://www.adal.co.jp	
 株式会社アルファ企画/アルファブックス http://www.e-webpro.jp		 株式会社イリア https://www.ilya.co.jp	
 カリモク家具株式会社 https://www.karimoku.co.jp		 株式会社カンディハウス https://www.condehouse.co.jp	
 株式会社フィールドフォー・デザインオフィス https://www.field4.co.jp		 株式会社ワロン https://www.warlon.co.jp	
 株式会社エーディコア・ディバイズ https://www.adcore.co.jp		 リビングデザインセンターOZONE https://www.ozone.co.jp	

2022年度活動報告書

- 発行 公益社団法人日本インテリアデザイナー協会/一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会
- 発行人 丹羽浩之
- 編集長 小川和彦
- 編集員 小野上勝志 亀田一幸 櫻井良樹 小玉靖子 田中みつ子
- デザイン 小川和彦 櫻井良樹
- 発行日 2023年 2月 1日
- 印刷製本 プリントバック
- ワークショップメンバー 小川和彦 小野上勝志 亀田一幸 小林秀徳 櫻井良樹 鳥井貴正 日方和城 (以上JID) 久保寺洵子 小玉靖子 田中みつ子 広田恭子 松浦千代美 森山恵 (以上icon)
- 事務局 有泉智彦 藤谷由紀 田中道子 (以上JID)

※ 断転載を禁じます。 © JID 2023 All rights reserved.



JAPAN INTERIOR ARCHITECTS/DESIGNERS' ASSOCIATION

公益社団法人日本インテリアデザイナー協会
〒163-1007 東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー7F パークサイドオフィスA
TEL:03-5322-6560 FAX:03-5322-6559
URL : <https://jid.or.jp>



KIDS DESIGN AWARD 2012

JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2017

interior coordinators' organization of nippon

一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会
〒163-1007 東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー7F パークサイドオフィスB
TEL,FAX : 03-5320-1848
URL : <https://www.ic-on.jp>

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは、2015年9月の国連総会で国連加盟193か国が採択した国際目標です。SDGsを日本では「持続可能な開発目標」や「持続可能な発展目標」とも訳され、17の目標と169のターゲットが設定されています。人類が地球に住み続け、繁栄をしていく為に、日本及び世界共通のテーマです。JIDはデザイン団体として初めて内閣府に申請し官民連携プラットフォーム会員に登録されました。



JID22KDP0001

日本デザイン団体協議会(D-8) 創作証

デザインの創作性の保全を目的とした「創作証制度」に取り組み、研究会活動に限られた枠内から、D-8会員の皆様、そして広く社会へと広がる価値のあるものとなるように、多くの方々と連携していきたいと考えています。